



岐阜県政記者クラブ加盟社各位



令和7年10月15日（水） 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
高校教育課	高校総合支援係	市橋	内線 8665 直通 058-272-8842 FAX 058-278-2822
義務教育課	小中総合支援係	金子	内線 8592 直通 058-272-8843 FAX 058-278-2817
国際交流課	国際交流係	瀬戸	内線 3974 直通 058-272-1874 FAX 058-278-2603

「ユニセフ・キャラバン・キャンペーン」が4年ぶりに岐阜県で開催されます

日本ユニセフ協会では、世界の子どもたちの現状やユニセフ（国連児童基金）の活動に関する知識・認識の普及・啓発を目的に、ユニセフ・キャラバン・キャンペーンを毎年実施しています。

今年度は岐阜県にて開催され、知事（代理：観光文化スポーツ部長）、教育長とのメッセージ交換や研修会等下記のとおり行いますので、お知らせします。なお、岐阜県での開催は4年ぶり11回目です。

記

日付	時間	行事
10月22日（水）	10:00～10:20	知事（代理：渡辺 幸司 観光文化スポーツ部長）との メッセージ交換 会場：県庁6階 第一応接室
	10:30～10:50	教育長とのメッセージ交換 会場：県庁6階 第一応接室
	13:30～15:30	ユニセフ研修会 会場：県庁3階会議室301・302 参加者：県内教職員（指導主事約40人）
10月23日（木）	10:35～11:20	岐阜市立梅林小学校での「ユニセフ教室」＊ 会場：6年生教室 参加学年：6年生（33名）
	13:40～14:25	岐阜市立梅林中学校での「ユニセフ教室」＊ 会場：体育館 参加学年：3年生（104名）

＊小中学校の取材を希望される場合は、岐阜市教育委員会学校指導課（058—214—7156）に事前にご連絡ください。

ユニセフ・キャラバン・キャンペーンについて

日本ユニセフ協会は、日本国内において民間で唯一ユニセフ（国連児童基金）を代表する組織として、ユニセフ活動の広報、募金活動等を担っています。ユニセフ・キャラバン・キャンペーンは、世界の子どもたちの現状やユニセフの活動に関する知識や認識の普及、啓発を目的に、昭和54年に開始されました。毎年全国の11～12ほどの道府県を訪れ、知事や教育長を表敬訪問し、世界の子どもたちの現状の理解促進を図るよう働きかけを続けています。

岐阜県での開催は令和3年度の実施から4年ぶり、計11回目となります。

ユニセフ研修会について

世界の子どもたちを取り巻く現状やユニセフの活動について紹介するほか、「子どもの権利条約」やSDGs（持続可能な開発目標）について、日ごろの授業や教育活動を通じ、児童・生徒にどう伝え学校生活でどう活用していくかを、グループワークを交えながら考えます。

ユニセフ教室について

紛争や気候変動を中心に、世界の子どもたちが直面している課題について、写真や映像を用いて児童・生徒に授業を行います。授業の中では、水道が普及していないネパールの農村で子どもたちが家族のための水汲みに使っている真鍮製の水がめ（水を入れると約15kg）や、マラリア予防のための蚊帳のほか、世界各地で使われている支援物資の実物などに、児童・生徒が実際に触れ、体験します。

報道各位

プレスリリース

配信日：2025 年 10 月 15 日

発信元：日本ユニセフ協会



子どもの権利の実現と SDGs への取り組みを呼びかける ユニセフ・キャラバン・キャンペーン 岐阜県で開催（4 年ぶり 11 回目）

10 月 22 日（水）知事・教育長とメッセージ交換
教職員対象「ユニセフ研修会」

10 月 23 日（木）岐阜市内の学校で「ユニセフ教室」実施

【2025 年 10 月 15 日 東京発】

公益財団法人 日本ユニセフ協会（東京都港区、会長：高須幸雄）は、10 月 22 日（水）・23 日（木）に、「岐阜県ユニセフ・キャラバン・キャンペーン」を実施いたします。

ユニセフ・キャラバン・キャンペーンは、世界の子どもたちの現状やユニセフ（国連児童基金）の活動に関する知識・認識の普及・啓発を目的に 1979 年の『国際児童年』を記念してスタートしました。毎年全国の 11～12 ほどの道府県を訪れ、知事や教育長を表敬訪問し、世界の子どもたちの現状の理解促進を図っていただくよう働きかけを続けています。併せて、学校の先生方及び教育委員会・教育庁の指導主事の方々等を対象とした「ユニセフ研修会」や、学校での「ユニセフ教室」を開催しています。

「岐阜県ユニセフ・キャラバン・キャンペーン」の実施は 1979 年、1985 年、1992 年、1996 年、2000 年、2004 年、2008 年、2012 年、2016 年、2021 年に続き、今回で 11 回目となります。

10 月 22 日（水）午前には、県庁にて江崎 禎英 知事（代理：渡辺 幸司 観光文化スポーツ部長）および堀 貴雄 教育長を訪問してメッセージ交換を行い、県内の皆さまからのユニセフへのご支援に対する感謝をお伝えします。併せて、世界の子どもたちが置かれている厳しい状況への理解をより広め、持続可能な世界の実現を目指すため、さらなる連携とお力添えをお願いする予定です。

午後には教職員を対象とした「ユニセフ研修会」を実施します。世界の子どもたちを取り巻く現状やユニセフの活動について紹介するほか、「子どもの権利条約」や SDGs（持続可能な開発目標）について、日ごろの授業や教育活動を通じ、児童・生徒にどう伝え学校生活でどう活用していくかを、グループワークを交えながら考えます。

10 月 23 日（木）午前には岐阜市立梅林小学校、午後には岐阜市立梅林中学校を訪問し、「ユニセフ教室」を実施します。紛争や気候変動を中心に、世界の子どもたちが直面している課題について、写真や映像を用いて児童・生徒に授業を行います。授業の中では、水道が普及していないネパールの農村で子どもたちが家族のための水

汲みに使っている真鍮製の水がめ（水を入れると約 15kg）や、マラリア予防のための蚊帳のほか、世界各地で使われている支援物資の実物などに、児童・生徒が実際に触れ、体験します。「子どもの権利条約」や SDGs にも触れながら、これから目指す世界について考え、児童・生徒の一人ひとりが変化を生み出す主役として行動を起こすよう呼びかけます。

報道機関の皆さまにおかれましては、下記の日程表をご参照のうえ、ぜひご取材くださいますよう、よろしくお願いいたします。

＜日程表＞

月 日	時 間	行 事	ご取材可否
10 月 22 日(水)	10:00～10:20	知事（代理：渡辺 幸司 観光文化スポーツ部長）との メッセージ交換 会場：県庁 6 階 第 1 応接室	取材可
	10:30～10:50	教育長とのメッセージ交換 会場：県庁 6 階 第 1 応接室	取材可
	13:30～15:30	ユニセフ研修会 会場：県庁 3 階会議室（301・302） 参加者：県内教職員（指導主事約 40 人）	取材可
10 月 23 日(木)	10:35～11:20	岐阜市立梅林小学校での「ユニセフ教室」 会場：6 年生教室 参加学年：6 年生（33 名）	取材可*
	13:40～14:25	岐阜市立梅林中学校での「ユニセフ教室」 会場：体育館 参加学年：3 年生（104 名）	取材可*

* 小中学校の取材を希望される場合は、岐阜市教育委員会（058-214-7156）に事前にご連絡ください。

お問い合わせ：（公財）日本ユニセフ協会 学校事業部
担当：石尾・山口
TEL：03-5789-2014 ／ E-mail：se-jcu@unicef.or.jp

* * *

■ ユニセフについて

ユニセフ（UNICEF：国際連合児童基金）は、すべての子どもの権利と健やかな成長を促進するために活動する国連機関です。現在約 190 の国と地域※で、多くのパートナーと協力し、その理念をさまざまな形で具体的な行動に移しています。特に、最も困難な立場にある子どもたちへの支援に重点を置きながら、世界中のあらゆる場所で、すべての子どもたちのために活動しています。ユニセフの活動資金は、すべて個人や企業・団体からの募金や各国政府からの任意拠出金で支えられています。（<https://www.unicef.org>）

※ユニセフ国内委員会（ユニセフ協会）が活動する 32 の国と地域を含みます。

■ 日本ユニセフ協会について

公益財団法人 日本ユニセフ協会は、32 の先進国・地域にあるユニセフ国内委員会の一つで、日本国内において民間で唯一ユニセフを代表する組織として、ユニセフ活動の広報、募金活動、アドボカシーを担っています。

（<https://www.unicef.or.jp>）